

東京都観光事業審議会・答申【提言の概要】

提言の構成

- これまでの観光産業振興プランの3本柱（「東京の魅力の世界に発信」「観光資源の開発」「受入体制の整備」）を発展的に再構築
- ⇒5つの戦略と施策を推進するために必要な3つの事項
- 「施策提言（戦略）」と「施策を推進するために必要な事項」は、柱と梁の関係

提言のポイント

東京の観光の新たなステージにおける施策展開

- 日本のゲートウェイとして、外国人旅行者誘致をレベルアップ
- 新たな価値の創出による、地域における観光振興の取組を強化
- 「MICE誘致」と「観光人材の育成」を戦略の柱に位置付け
- 内外の旅行者の誘致を加速させる、より踏み込んだ取組を展開（観光の視点の重視、これまでの施策の深化、取組体制の強化など）

- ・マーケティング戦略の強化
- ・広域的な視点による連携の強化
- ・地域の視点を重視した観光振興
- ・旅行者目線による取組の推進
- ・量だけでなく質の視点の重視
- ・総力を結集した一体的な取組

『東京ブランド』の確立

自らの価値を高め、将来にわたって人々を魅了し続けていく。

Ⅲ-2 施策提言

具体的な取組の方向性（主なもの）

戦略1 質・量ともに充実した効果的な外国人旅行者誘致策の展開

- マーケティング機能の強化による戦略性の確保（セグメント・マーケティング*による市場特性に応じた誘致など）
- 東京全体を象徴したイメージ戦略（ブランディング）による旅行者への訴求
- FIT*の増加に対応した、個人旅行者を重視したプロモーションの展開
- 国をはじめ、内外の他都市等との連携を視野に入れた広域的な取組の展開 など

*セグメント・マーケティング：市場を細分化（セグメント化）し、それぞれのセグメントに適したマーケティング活動を展開すること。
*FIT：Foreign (Free) Independent Travel (Tour)。個人で手配する旅行。海外からの個人旅行。

戦略2 誘致競争を勝ち抜くMICEプログラムの構築

- 「M、I、C、E」それぞれのターゲットに応じたきめ細かな戦略展開
- 東京の強みを背景としたMICE誘致のためのプロモーションやキーパーソンなどへの働きかけ
- 伝統・文化等を活かした東京独自の誘致支援メニューによる魅力の創出
- 地域における、関連する主体が一体となったMICEを受け入れる仕組みの構築 など

戦略3 地域資源を活用した旅行者への価値の提供

- 既存資源の価値の向上、新たな資源の掘り起こしや再発見による価値の創出
- 地域の課題等が一様でないことを踏まえた、観光振興の発展段階に応じた支援
- 観光資源と認識されなかった街並みや日常生活などに着目した魅力の演出
- 都内における、行政区域を前提としない広域的な取組
- 多摩・島しょ地域における観光振興の推進 など

戦略4 旅行者目線に立った、きめ細かな受入環境の充実

- 多言語表示のさらなる推進など言語対応を重視した受入環境の充実
- 街なかでの案内情報の充実、観光案内所の機能強化など旅行者目線に立った利便性の向上
- ICT*など最先端のトレンドや技術を、効果的に取り入れた観光情報の提供の促進
- 緊急時・災害時においても旅行者の安全・安心を確保する取組の推進 など

*ICT：Information and Communication Technology。情報通信技術。

戦略5 東京の成長を牽引していく観光を支える人材力の確保

- 観光産業を含め、観光に関するマネジメントを担う人材の育成・活用
- 海外の文化や価値観を正しく理解し、対応できる国際感覚やホスピタリティ豊かな人材の育成
- 観光の視点からのまちづくりなど、地域におけるマネジメントを担う人材の育成・活用
- 外国人旅行者に対する観光案内・情報提供における在住外国人などの活用 など

Ⅳ 施策を推進するために必要な事項

1 東京の総力を結集した観光振興の推進

- 都、国、区市町村、観光団体、民間事業者、都民等各々の役割分担に基づく、積極的な取組の推進
- 東京観光財団の体制・機能の強化
- 各主体の連携による相乗効果の創出
- 戦略的な旅行者誘致を実現していくために必要な政府観光局機能について検討 など

2 観光の実態をより効果的に捕捉する機能の充実

- 量的な面に加え、旅行者の満足度や消費といった質的な面にも着目した政策指標の設定
- 旅行者のニーズや動向などを調査・分析した戦略の構築（マーケティング戦略の構築）
- 観光振興により東京にもたらされる成果の把握 など

3 東京の観光施策を支える財源の確保

- 宿泊税は、今後も観光振興の推進に資するよう、効果的に活用 など

おわりに ～東京の進むべき道～

- 東京の観光は今が転換期
- 観光振興による人々の動きは、社会・経済を活性化
- 官民が一体となり、東京の総力をあげた取組が必要
- 持続的に人々を魅了するため、東京ブランドを確立
- 今後は観光の視点を持った都市づくりが重要な要素
- 都民こそが観光振興における交流の主役となるべき

本答申は
転換期にある
東京の観光の
羅針盤

東京における観光の力が
日本の成長を牽引する原動力に
なることを期待